

塩の町

„Mons-Pons-Fons”-リュウネブルグの町はカルク（石灰）の山、イルメナウ川を渡る橋の近辺と塩の泉のあたりという、三つの居留地から発達してきました。早くも795年にはヒリュニウと言うカルク山中にあった逃亡地が年代記に記録されています。10世紀にそのカルク山に建てられたお城は、その後破壊されました。リュウネブルグの富となった製塩所は956年に既に歴史に記載されています。最後の居留地はイルメナウ川の浅瀬にあり、その頃「モーデストルベ」 という名前がつけました。

特にハインリッヒ・デア・レーヴェ（ライオンのハインリッヒ王）が1189年にパードヴィックの町を略奪して破壊した後、リュウネブルグはますます重要な町になって行きました。1247年にリュウネブルグは町としての権利を得ました。素晴らしいレンガゴシック様式の町並みが、今日も昔の富を偲ばせます。「石のように金持ち」というドイツ語の諺のように、金持ちは華麗な石をふんだんに使って北ドイツの切妻飾りを競って建設させました。リュウネブルグの最盛期の15世紀と16世紀には、殆ど独立した町となり、ハンザ同盟にも参画するようになりました。製塩と遠隔地貿易のおかげで、リュウネブルグの富と権力は全国的にも影響を及ぼすようになりました。人口も約14,000人となり、リュウネブルグは当時の大都会となりました。1500年頃に始まる塩売買の危機がリュウネブルグの商業にも悪影響を与えました。他の産業がなかった為、リュウネブルグ市は意義の薄い町となって行きました。北ドイツにおける高い地位を保つことは出来ず、豊かで華麗な時代の美しさは今も町並みに残っています。歴史の重みが伝わる古い建造物、和やかな雰囲気の良い小道の数々。どうぞ、この町の見所をゆっくりお楽しみ下さい。リュウネブルグ市観光局は貴方の市内観光案内を致します。ドイツ塩博物館とリュウネブルグ方爵公博物館では、更に詳しい歴史の流れが垣間見られます。

リュウネブルグの地盤
市役所の裏から聖ミハエリス教会まで続く、西の旧市街は塩盤の上にできています。塩分の高い地下水をポンプで吸い上げて製塩をしていた為、約1平方キロの範囲で地盤沈下が激しく、殆どの建物が傾斜しています。特に北の部分の地盤は、この20年間40センチも沈下しています。この独特な旧市街の小道を散策しながら、リュウネブルグの雰囲気味わってください。



博物館

市役所

13世紀-18世紀に渡って常に増築され完成した建物。数多くの部屋やホールでそれぞれの建築様式を見ることができます。

Am Markt・21335 Lüneburg・電話：04131-309230
開館時間：1月-3月、11月、12月
見学はガイド付きのみ

団体案内 ご要望に応じます

ドイツ塩博物館

元製塩所がリュウネブルグのモダンなドイツ塩博物館となりました。製塩過程とその商業効果がリュウネブルグの町に、又、全国的にどのような重要性を及ぼしたかを説明、展示しています。

開館時間：月-日 10:00-17:00
団体案内 ご要望に応じます

リュウネ修道院内繊維博物館

中世の修道院に13世紀-16世紀の白刺繍やタペストリーが数多く収集されています。
Am Domänenhof・21337 Lüneburg
電話：04131-52318・ファックス：04131-56052
開館時間：4月1日-10月15日
火-土 10:00-12:30/14:30-17:00
日 11:30-17:00
団体 年中御問い合わせに応じます

市内観光

市内観光案内：約90分間
(ドイツ語) 5月-10月 毎日 11:00
11月-4月 土曜日 11:00

団体及び特別ツアーは観光局へ御問い合わせ下さい。
観光局(住所：Rathaus/Am Markt, 21335 Lüneburg,
電話番号：04131-2076620, ファックス：04131-2076644, touristik@lueneburg.de, www.lueneburg.de)
営業時間：年中 月-金 9:00-18:00
5月-10月 土-日 9:00-16:00
11月-4月 土 9:00-14:00



エルベ川の谷

シャーネベックの船舶用起重機施設

電話：04136-91262931
見学時間：3月15日-10月31日
毎日10:00-18:00
シャーネベック観光局・電話：04136-90721

ブレッケデのエルベ城

常時展示：飛行の魅惑。エルベの自然。コウノトリと魚。かご編み。喫茶店。火-日営業
Schlossstraße 10・21354 Bleckede・電話：05852-95140



Amelinghausen・ハイデの女王

ハイデの見所

クロンズベルグ・ハイデ
リュウネブルグからB209をアメリンハウゼン方向へ。ハイデ祭りの会場。

レードルファー・ハイデ
90ヘクタールの広大なハイデ、リュウネブルグからB209をアメリンハウゼン方向へ。

マルクセナー・パラディース
DrögnindorfとOldendorf/Luheの間、アメリンハウゼンの北。

ハイデ自然公園
Reppenstedt, Salzhausen及びEgestorfからUndeloh或いはDöhleの駐車場に出られます。

1,00 euro

観光一覧

リュウネブルグとその郊外



市内地図在中

行楽地

見所

営業、開館時間

リュウネブルグ

体験しましょうエルベとハイデ



www.lueneburg.de

リューネブルグの見所

1 市役所 (Rathaus, Am Ochsenmarkt/Marktplatz)
 最古の部分は1230年に建てられ、その後時代の要求に応じながら次第に拡充されました。中を歩いてみるとそれぞれの時代様式の変化が見られます。グリヒツラウベ(元裁判所)、方爵公広間と元史料館はゴシック様式。アルベルト・フォン・ゾーストの彫刻が見事な会議室(ラーツシュテューベ)はドイツで一番美しいルネッサンス様式の広間の一つとされています。また、隅見の間(フルディグンスザール)はバロック様式です。この時代に、1704年から16年の歳月をかけてゲオルグ・シュルツ建築技師が建設した正面もバロック調の華麗な建築物です。鐘楼塔にはドイツ最大のマイセン陶器の鐘があります。

2 聖ニコライ教会 (St. Nicolai-Kirche, L. ner Strafle)
 15世紀に作られたバシリカは港の近くにあった為、航海者達が通う教会でした。室内は中世以来その面影を残しながら、外面は19世紀に何度も修復されています。聖ニコライ教会にはゴシック様式の絵画や彫刻物の収集があります。

3 古いクレーンとカウフハウス (Alter Kran und Kaufhaus, Am Stintmarkt)
 イルメナウ川に設置された木造のクレーン(アルター・クラーン)は既に、1346年に歴史に記録されています。このクレーンが19世紀に入り最後に使われたのは、ブラウンシュヴァイク・フィーネンブルグ鉄道の機関車でありました。その隣にある黄色い正面のカウフハウスにはその昔市場が開かれていました。バルト海のニシンも売買の対象となり、ニシンの家(ヘーリングスフース)とも呼ばれていました。1959年には放火の犠牲となり、今は1742年のバロック様式正面だけが残っています。

4 ブロムゼ・ハウス (Brömse-Haus, Am Berge 35)
 1466年に作られ、リューネブルグで記録された最古の市民の家。おそらく、この家を見て、住んでいたのはディートリッヒ・ブロムゼ氏だとされ、この家の名前となりました。豪華な入り口にもご注目ください。



カウフハウスと古いクレーン

市内地図



リューネブルグの見所

5 聖ヨハニス教会 (St. Johannis-Kirche, Am Sande)
 1297年にリューネブルグの住民が初めて洗礼を受けたという聖ヨハニス教会は、ニーダーザクセン州でも最古の教会の一つです。その昔、39の聖壇が置かれていました。今日ではヒンリック・フンホフスの絵で飾られる大型壇と盛大なバロック様式のオルガンが見所です。108,71mの斜塔はリューネブルグのシンボルとなっています。1698年-1733年の間、ヨハニス教会の音楽監督として勤めていたゲオルク・ベームはヨハン・セバスチャン・バッハの叔父にあたり、この教会で若いバッハにオルガンと作曲を教えたということです。

6 給水塔 (Wasserturm)
 ネオゴシック様式の給水塔は1907年に作られました。それまでは隣接のラーツワサーの塔がリューネブルグの町に水を提供していました。現在では、給水塔に展望台が作られ、そこからの見晴らしは一見に値します。

7 商工会議所 (Industrie- und Handelskammer, Am Sande)
 聖ヨハニス教会の向かいにある壮大な建物は醸造所として1548年に作られ、現在はリューネブルグの商工会議所として使われています。アム・ザンデ広場はその当時、リューネブルグの経済活動の中心となっており、瀟洒な切妻飾りの家が軒並みに建っています。

8 聖ミハエリス教会 (St. Michaelis-Kirche, Joh.-Seb.-Bach-Platz)
 元来、カルク山中に建てられたミハエリス教会とその修道院は、1376年にカルク山の麓、リューネブルグ市内に移されました。教会は地盤沈下のため傾き、室内の円柱もそのために傾斜しています。1701年-1702年の間、バッハも修道院の合唱団で歌っていたという歴史的な教会です。



給水塔

刊行：
 発行人：Tourist Information der Lüneburg Marketing GmbH, Rathaus/Am Markt, 21335 Lüneburg
 電話：04131-20766-20
 ファックス：04131-20766-44
 メール：touristik@lueneburg.de
 インターネット：www.lueneburg.de
 営業時間：月-金 9:00-18:00
 5月-10月 土-日 9:00-16:00
 11月-4月 土 9:00-14:00

プログラムの変更がありうることをご了解下さい。